

海老名JC

[神奈川県]

運動部体質 それが海老名JC シニア会の良いところ

海

老名市は神奈川県ほぼ中央に位置し、南北に長い地形で、

西は相模川を隔てて厚木市に、北は座間市、東は大和市・綾瀬市、南は藤沢市・高座郡寒川町に接しています。

奈良時代に相模国分寺が建立され古くからの歴史のある街です。温暖な気候と肥沃な土地に恵まれていることから、昔から農業が盛んな土地柄です。近年は、JR相模線、小田急線、相鉄線と3つの鉄道が利用できることから東京、横浜のベッドタウンとして人口も増加しています。少し前までは、海老名の地名は東名高速道路のサービスエリアの名前くらいしか知られていませんでした。しかし、5年前に海老名市と小田急の共同事業として海老名駅の再開発が行われVINA WALKと名

づけられた複合商業施設が完成したことにより、多くの人が集まる街になってきています。

さて海老名青年会議所は1981年に設立された比較的新しいLOMです。設立当初は青少年非行問題に取り組み、その後海老名相模国分

寺七重の塔再建運動を行い、それを推進するために海老名市内の史跡をまわるスタンプラリーを10年間開催してきました。また2000年から子どもたちの健全な育成を考えた事業を続けてきています。海老名JCの事業は常に熱い思いから発しており、その都度大きな困難を乗り越えることにより関わったメンバーには強烈な思い出になっています。

その強烈な思い出を胸に卒業したメンバーで構成される、海老名JCシニア会は会員数87名で活動しています。親睦と現役メンバーの支援を目的として、年一回の総会、OB現

役懇親会、忘年会の3つの事業を柱として活動しています。昨今の経済状況を反映して、青年会議所卒業後にシニア会に入会してくれるメンバーが減ってきていることが、現在の

問題点としてあげられます。しかし、活動している会員は年齢に関係なく元気なメンバーが多く、シニアになってもしっかりと縦軸の関係が続いている運動部体質のシニア会です。

また、メンバーの中には、商工会議所会頭をはじめ、市議3名、県議1名を輩出しており、政治・経済の分野でもJCの経験を活かし、愛する海老名のまちがより発展するため日々活躍しております。今後とも縦軸のつながりを持って、現役メンバーの良き応援団として活動してまいります。

海老名JCシニア会会長

大貫 紀夫

日本JCシニア・クラブ

久保田英賢

神奈川ブロック担当幹事



就任のあいさつをする大貫会長。見守る石渡幹事



初代理事長市川先輩と白石理事長



懇談会風景



総会後の集合写真